

役員 2020年7月1日現在

■取締役

取締役 会長 丹呉 泰健
 取締役 副会長 岩井 睦雄
 代表取締役 社長 寺島 正道
 代表取締役 副社長 見浪 直博
 代表取締役 副社長 廣渡 清栄
 取締役 山下 和人
 取締役 幸田 真音*
 取締役 渡邊 光一郎*
 取締役 長嶋 由紀子*

*取締役 幸田 真音、渡邊 光一郎および長嶋 由紀子は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

■監査役

常勤監査役 永田 亮子
 常勤監査役 山本 博
 常勤監査役 三村 亨*
 監査役 大林 宏*
 監査役 吉國 浩二*

*常勤監査役 三村 亨、監査役 大林 宏および吉國 浩二は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

■執行役員

社長 (最高経営責任者、たばこ事業本部長)
 副社長 (最高財務責任者、コミュニケーション担当)
 副社長 (コーポレート・医薬事業・食品事業担当)
 専務執行役員 (コンプライアンス・サステナビリティマネジメント・総務担当)
 専務執行役員 (たばこ事業本部国内たばこ事業CEO、事業企画担当)
 常務執行役員 (たばこ事業本部国内たばこ事業CFO)
 常務執行役員 (たばこ事業本部セールス担当)
 執行役員 (たばこ事業本部渉外担当)
 執行役員 (たばこ事業本部原料担当)
 執行役員 (たばこ事業本部RRPジャパンオフィスヘッド)
 執行役員 (たばこ事業本部マーケティング担当)
 執行役員 (たばこ事業本部R&D担当)
 執行役員 (たばこ事業本部製造担当)
 執行役員 (たばこ事業本部中国事業部長)
 執行役員 (たばこ事業本部品質保証担当)
 執行役員 (医薬事業部長)
 執行役員 (医薬事業部医薬総合研究所長)
 執行役員 (食品事業担当)
 執行役員 (企画担当)
 執行役員 (デジタルイノベーション担当)
 執行役員 (総務担当)
 執行役員 (人事担当)
 執行役員 (コミュニケーション担当)
 執行役員 (法務担当)
 執行役員 (サステナビリティマネジメント担当)

寺島 正道
 見浪 直博
 廣渡 清栄
 山下 和人
 福地 淳一
 前田 勇気
 清川 栄一
 小倉 健資
 小川 千種
 中島 康裕
 廣末 秀一
 三木 啓介
 小柳 明弘
 小口 徹
 土方 徹
 藤本 宗明
 大川 滋紀
 古川 博政
 中野 恵
 柴山 武久
 菊池 孝徳
 森 功一
 福田 浩之
 廣瀬 修
 妹川 久人

株主・投資家の皆さまへ
業績報告書

vol.65



株価の推移 1994年10月27日上場～2020年7月 当社株価（東証終値、月間）



*2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
 TEL 03-3582-3111 <https://www.jti.co.jp/>

2020年度 第2四半期決算報告
 JT NEWS

ひとの
 ときを、
 想う。 JT

コロナ禍において、ステークホルダーの安全を不確実性の高い事業環境下において、上期は



新型コロナウイルスは私たちの生活に類を見ない影響をおよぼしています。さまざまなかたちで痛みや苦しみを抱えている方々に心よりお見舞い申し上げます。また、この困難な状況において、社会機能の維持にご尽力いただいている世界中の関係者の方々、ご協力くださっている取引先の皆さま、われわれの事業継続に取り組んでくれている従業員に感謝いたします。

JTグループは、この危機の拡大当初から、従業員とその家族、そしてすべてのステークホルダーの安全を最優先するとともに、お客様や取引先の皆さまへの不便を軽減できるようあらゆる対策を講じています。

また、包摂的かつ持続可能な地域社会の発展に寄与することを目指し、これまで社会貢献活動を継続的に実施してまいりました。このような未曾有の事態に際しても、責任ある地域コミュニティの一員としての役割を果たしてまいります。

2020年度 第2四半期実績 (2020年1-6月)

2020上期、たばこ産業も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けましたが、JTグループの業績は底堅いものでした。当社の利益指標である為替一定ベースの全社調整後営業利益、すなわち為替影響や特殊要因を除いた営業利益は、たばこ事業および加工食品事業でコロナ禍影響を受けたものの、海外たばこ事業における単価上昇効果に牽引され、対前年同期で7.5%増と高い水準の増加となりました。なお、為替影響を含む財務報告ベースの調整後営業利益につきましては、ネガティブな為替影響が当初想定よりも拡大したことを受け、対前年同期で同水準となりました。

国内たばこ事業：コロナ禍影響を主因とした、紙巻販売数量の減少並びに国内免税および中国事業の減収に加えて、RRP関連売上収益の減少により、対前年同期で減収減益となりました。なお、本年7月1日より「ブルーム・エス・2.0」を発売しており、RRPカテゴリでのシェア獲得に向けて注力してまいります。

海外たばこ事業：主要市場でのシェアの増加はあるものの、コロナ禍影響を受けた免税市場の販売減少および新興市場でのロックダウンによる総需要減等により総販売数量は減少しました。他方、各国において力強く発現した単価上昇効果が、販売数量の減少影響を大きく上回ったことを主因に、為替一定ベース、ネガティブな為替影響を含めた財務報告ベースともに対前年同期で増収増益となりました。

医薬事業：海外ロイヤリティ収入の減少はあったものの、製造販売承認申請を行った開発品の試験終了による研究開発費の減少に加え、鳥居薬品における増益により、対前年同期で減収増益となりました。

加工食品事業：冷凍うどん、お好み焼き、パックご飯等の家庭用製品の需要増加に伴う販売の伸長があったものの、

最優先に事業を運営 ビジネスモメンタムの底堅さを確認

外食向け製品およびベーカリー事業の販売減少により、対前年同期で減収減益となりました。

2020年度 業績見込

2020年度の下期においても、たばこ事業を中心にビジネスモメンタムは底堅く推移すると見ております。他方、来期以降の見通しにつきましては、経済状況やその見通し、お客様の消費動向の変化や、各国における規制・税制の動向がどのようになるかを見極める必要があると考えております。

為替一定ベースの全社調整後営業利益は、コロナ禍影響を受け、たばこ事業における販売数量前提の修正および加工食品事業における外食向け製品の需要減を織り込んだことに伴い70億円下方修正し、前年度比1.3%減の5,090億円を見込んでおります。

国内たばこ事業：自社たばこ製品売上収益は、国内免税および中国事業におけるコロナ禍影響、並びに国内市場における外出自粛環境下での一時的な需要減を織り込んだことにより300億円下方修正し、前年度比10.4%減の5,100億円を見込んでおります。調整後営業利益についても、コスト低減に努めるものの、売上収益の減少影響により100億円下方修正し、前年度比14.5%減の1,600億円としております。

海外たばこ事業：為替一定ドルベースでは、コロナ禍影響を受けて販売数量前提を見直したことにより、自社たばこ製品売上収益を5億米ドル下方修正したものの、調整後営業利益については、主に上期に発現した力強い単価上昇効果やコロナ禍でのオペレーションの制限によるコスト減の効果を踏まえて、当初見込から変更ありません。財務報告ベースでは、為替のネガティブな影響の拡大を見込むことにより、それぞれ、1,300億円下方修正し前年度比6.6%減の1兆1,700億円、380億円下方修正し、前年度比5.2%減の

3,230億円を見込んでおります。

医薬事業：売上収益は当初見込を据え置き、前年度比14.2%減の760億円、調整後営業利益については、コロナ禍でのオペレーションの制限等による研究開発費の減少および鳥居薬品の経費減を背景に30億円上方修正し、前年度比18.5%減の130億円を見込んでいます。

加工食品事業：コロナ禍に伴う販売減少を反映し、売上収益を70億円、調整後営業利益を20億円、いずれも下方修正し、それぞれ前年度比3.5%減の1,530億円、同44.8%減の30億円を見込んでおります。

なお、2020年度の1株当たり年間配当金予想は、当初お示した金額から変更はなく154円を予定しており、中間配当金は77円をお支払いする予定です。

新型コロナウイルス感染拡大影響が継続する中、今後も不確実性の高い状況が継続するものと考えておりますが、お客様のニーズや消費動向の変化をはじめとした環境の変化に迅速かつ柔軟に対応してまいります。

※ RRPは、E-Vapor製品および加熱式たばこ等、喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品 (Reduced-Risk Products, RRP) を指しております。E-Vapor 製品は、たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド (液体) を電気加熱させ、発生するペーパー (蒸気) を愉しむ製品です。一方、加熱式たばこは、たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー (たばこ葉由来の成分を含む蒸気) を愉しむ製品です

※ 2020年7月31日に公表した業績見込は以下の前提に基づき策定しております
●すでに発生している各国・地域でのロックダウンは段階的に解除
●第2波以降の影響 (再度ロックダウンおよび緊急事態宣言が発令されるような事態) は含まず
●経済回復の軌道はU字型を想定 (経済活動への影響は、第2四半期をピークに徐々に縮小するもの年内継続)

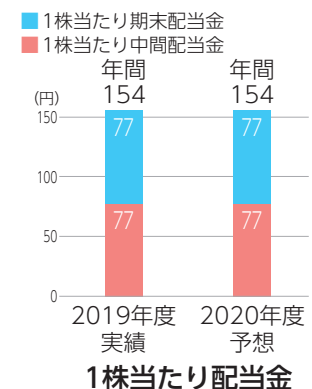
2020年度 第2四半期決算 全社実績

	2019年1-6月	2020年1-6月	対前年同期増減率
為替一定ベース			
調整後営業利益*1	2,878	3,093	+7.5%
財務報告ベース			
売上収益	10,585	10,302	-2.7%
調整後営業利益*1	2,878	2,876	-0.1%
営業利益	3,113	2,520	-19.1%
四半期利益/当期利益*2	2,265	1,725	-23.8%

*1 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費+調整項目 (収益および費用) *
*2 親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益

2020年度 全社見込

(単位: 億円)			
2020年度当初見込	修正見込	対当初見込増減	対前年度増減率
5,160	5,090	-70	-1.3%
21,800	20,100	-1,700	-7.6%
5,030	4,570	-460	-11.4%
4,710	4,220	-490	-16.0%
3,050	2,860	-190	-17.9%



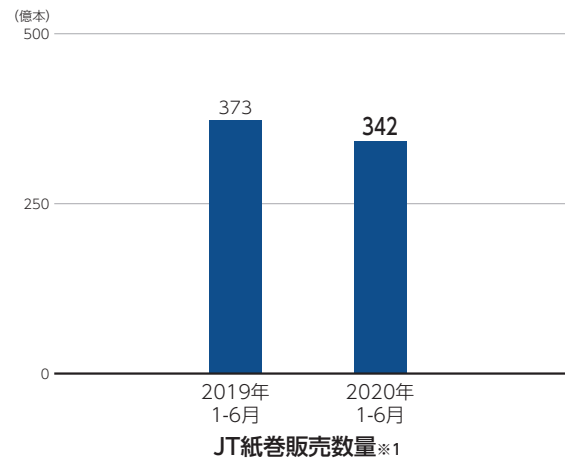
国内たばこ事業 今期のポイント

- コロナ禍に伴う外出自粛等の影響、RRP市場の拡大、規制影響、趨勢減等により、JT紙巻販売数量は減少
- 紙巻販売数量の減少、国内免税および中国事業の減収等に加えて、マーケティング投資の強化により、減収減益

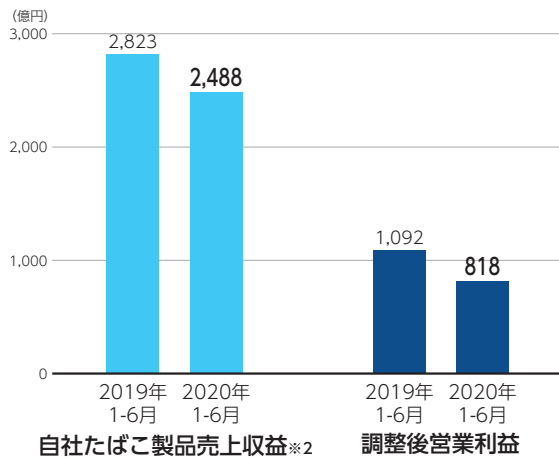
業績サマリー	
JT紙巻販売数量	前年同期比
342 億本	-32億本↓ -8.6%↓
自社たばこ製品売上収益	前年同期比
2,488 億円	-335億円↓ -11.9%↓
調整後営業利益	前年同期比
818 億円	-274億円↓ -25.1%↓

JT紙巻シェア/注カブランドシェア			
	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減%pt
JT	61.0%	59.9%	-1.1%pt
MEVIUS	30.5%	28.8%	-1.7%pt
Winston	7.8%	7.3%	-0.5%pt
Seven Stars	7.8%	7.5%	-0.4%pt
WINDMILL	1.9%	2.0%	+0.1%pt

販売数量実績



財務実績



※1 国内免税販売および中国事業の販売分を除く、JT紙巻たばこの販売本数。リトルシガーを含み、RRP等を含まない

※2 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP、リトルシガー関連の売上を含む

海外たばこ事業 今期のポイント

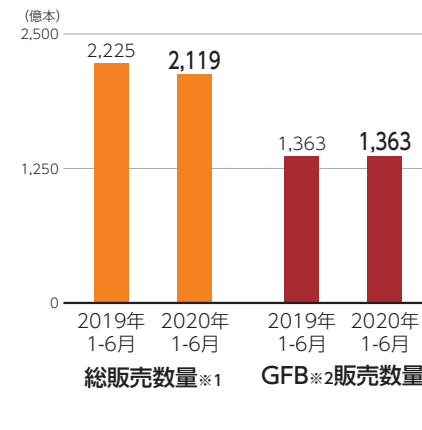
- 主要市場でのシェアの増加はあるものの、コロナ禍影響を受けた免税市場の販売減少および新興市場でのロックダウンによる総需要減等により、総販売数量は減少
- 総販売数量の減少はあるものの、力強い単価上昇効果により増収増益

業績サマリー	
総販売数量	自社たばこ製品売上収益
2,119 億本	6,045 百万ドル
前年同期比	前年同期比
-106億本↓ -4.8%↓	+525百万ドル↑ +9.5%↑
GFB販売数量	調整後営業利益
1,363 億本	2,144 百万ドル
前年同期比	前年同期比
-0億本↓ -0.0%↓	+459百万ドル↑ +27.3%↑

主要市場シェア (12か月平均)			
	2019年 6月	2020年 6月	増減%pt
フランス	23.6%	25.2%	+1.6%pt
イタリア	24.2%	24.9%	+0.7%pt
ロシア*	38.7%	38.5%	-0.1%pt
スペイン**	25.1%	25.9%	+0.7%pt
台湾	43.9%	46.5%	+2.6%pt
トルコ	27.6%	26.7%	-0.9%pt
英国	42.4%	44.3%	+1.9%pt

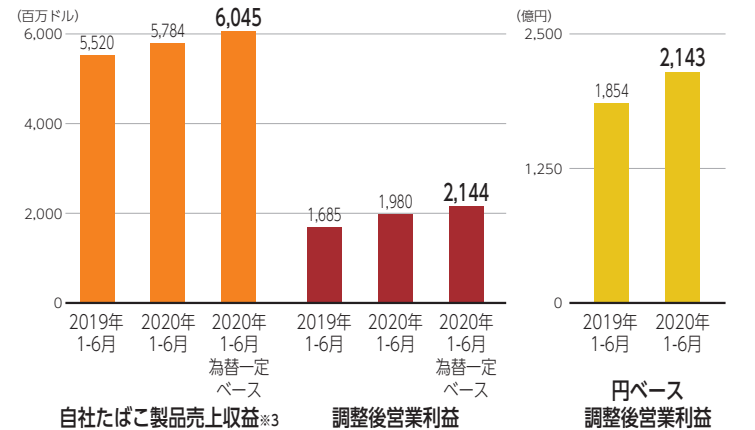
Source: IRI, Nielsen, Logista / 出典元の過去データ修正も反映
*2018年8月からDonskoy Tabakを含む
**2020年5月時点の12か月平均

販売数量実績



※1 水たばこ/E-Vapor製品/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む
※2 グローバル・フラッグシップ・ブランド。当社グループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「ILD」の4ブランドを指す

財務実績

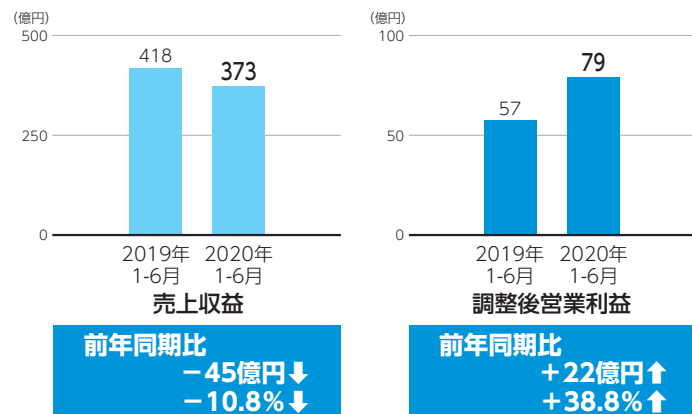


※3 物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRPの売上を含む

医薬事業

今期のポイント ●売上収益は海外ロイヤリティ収入の減少を主因に減収も、調整後営業利益は研究開発費の減少および鳥居薬品の増益により増益

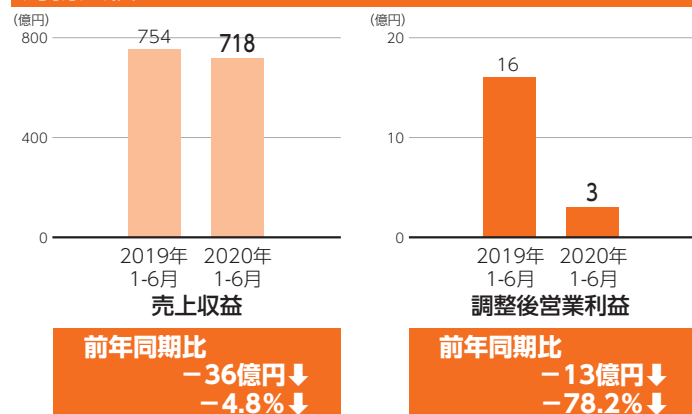
財務実績



加工食品事業

今期のポイント ●コロナ禍に伴う外出自粛等の影響を受け、外食向け製品およびベーカリー事業の販売減少により減収減益

財務実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化および需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動および原材料費の変動
- ⑩ 自然災害および不測の事態等

2020年度 第2四半期連結財務諸表

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	2019年 12月末	2020年 6月末	増減金額
資産			
流動資産	1,925,673	1,910,118	△15,555
非流動資産	3,627,397	3,437,055	△190,342
有形固定資産	803,239	780,725	△22,514
のれん	2,002,595	1,907,226	△95,369
無形資産	440,434	396,891	△43,543
投資不動産	16,588	16,236	△352
退職給付に係る資産	67,377	63,813	△3,563
持分法で会計処理されている投資	52,903	44,338	△8,565
その他の金融資産	109,568	99,503	△10,065
繰延税金資産	134,696	128,324	△6,371
資産合計	5,553,071	5,347,173	△205,898

(単位：百万円)

科目	2019年 12月末	2020年 6月末	増減金額
負債および資本			
負債			
流動負債	1,501,757	1,423,011	△78,746
非流動負債	1,307,702	1,300,146	△7,556
負債合計	2,809,459	2,723,157	△86,302
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,662,696	2,544,705	△117,990
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△492,469	△491,513	956
その他の資本の構成要素	△431,741	△586,905	△155,164
利益剰余金	2,750,506	2,786,723	36,218
非支配持分	80,916	79,310	△1,605
資本合計	2,743,611	2,624,016	△119,595
負債および資本合計	5,553,071	5,347,173	△205,898

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減金額
売上収益	1,058,549	1,030,218	△28,331
売上原価	△448,420	△436,451	11,969
売上総利益	610,129	593,767	△16,362
その他の営業収益	66,494	4,005	△62,489
持分法による投資利益	2,606	1,613	△993
販売費および一般管理費等	△367,903	△347,396	20,507
調整後営業利益※	287,796	287,634	△162
営業利益	311,326	251,989	△59,337
金融収益	4,109	3,739	△370
金融費用	△24,817	△29,766	△4,949
税引前四半期利益	290,618	225,961	△64,657
法人所得税費用	△52,194	△52,607	△413
四半期利益	238,424	173,354	△65,069
四半期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	226,451	172,495	△53,956
非支配持分に帰属する四半期利益	11,972	859	△11,113
四半期利益	238,424	173,354	△65,069

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費＋調整項目(収益および費用)*

*調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失＋リストラクチャリング収益および費用等

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減金額
四半期利益	238,424	173,354	△65,069
税引後その他の包括利益	△27,476	△155,009	△127,534
四半期包括利益	210,948	18,345	△192,603
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	199,375	17,987	△181,388
非支配持分に帰属する四半期包括利益	11,573	358	△11,215
四半期包括利益	210,948	18,345	△192,603

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,938	126,634	△95,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,263	△27,883	54,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,044	△24,978	79,066
現金および現金同等物の増減額(△は減少)	35,631	73,773	38,142
現金および現金同等物の期首残高	282,063	357,158	75,095
現金および現金同等物に係る為替変動による影響	△8,535	△23,191	△14,656
現金および現金同等物の四半期末残高	309,159	407,740	98,581

JT NEWS

加工食品新商品紹介

JTグループ商品のご紹介

ビーフガーリックライス

レンジ調理 フライパン調理 300g

新商品



食べきり満足サイズのビーフガーリックライスが新登場。

にんにくの香りをガツンと効かせたガーリックライスに味付けした牛肉を加え、食べ応えのある一品に仕上げました。

袋のまま電子レンジ調理可能で、時間と手間がかからない速攻系ごはんです。



新商品



いまどき和膳

しいたけの肉詰め

レンジ調理 4個入 120g

■肉厚でジューシーなしいたけに、国産若鶏のひき肉を詰め、天ぷら衣でふっくら揚げました。かつおと昆布の2種のだしを使用した特製和風だれが旨みの効いたしいたけによく合います。



ベーコンエッグ風

レンジ調理 4個入 108g

■毎日のお弁当に欠かせない卵のおかずにはベーコンエッグが仲間入り！塩気の効いたベーコンの旨みと香ばしさがまるやかな卵のおいしさを一層引き立てます。

たばこ新商品紹介

“圧倒的なメンソールの爽快感”と“満足のいく吸い応え”
 “メンソール特化型*”の高温加熱型
 「プルーム・エス・2.0」が新登場！



JTは、“メンソール特化型”としてバージョンアップした高温加熱型の加熱式たばこ用デバイス「プルーム・エス・2.0」を2020年7月2日（木）より、CLUB JT オンラインショップ、全国Ploom Shop、JT公式 Ploom楽天市場店、全国のコンビニエンスストア および全国の一部たばこ販売店等にて販売しています。

「プルーム・エス・2.0」は、充電完了までの時間短縮や、1回の充電での使用可能本数を増加させるなどの基本機能の改善に加え、新加熱モード「テイスト・アクセル」を搭載し“圧倒的なメンソールの爽快感”と“満足のいく吸い応え”のバランスを高い次元で実現した、“メンソール特化型”デバイスとしてリニューアルしました。

* レギュラータイプのたばこスティックもご使用いただけます
 ※ 「アイス・シルバー」（写真左）は数量限定販売となっており、在庫がなくなり次第終了となります
 ※ 一部店舗では、取り扱いがない可能性もございます

※ このページは株主の皆さまに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

5つの特典付き！
 月額230円から楽しめる「Ploom 定額プラン」がスタート

JTは、加熱式たばこ用デバイスの3商品（「プルーム・テック」、「プルーム・テック・プラス」、「プルーム・エス・2.0」）について、「Ploom定額プラン」のサービスを開始しました。

「Ploom定額プラン」はJTが運営する会員向け

サービス「CLUB JT」を通じてお申込みいただけます。

JTはお客様の多様なニーズにお応えし、これまで以上にご満足いただける商品・サービスの向上を目指してまいります。

【「Ploom 定額プラン」利用料金】

対象のスターターキットを、1年単位でご利用いただけます。契約期間満了後も、引き続きご利用いただけます。

プラン名	対象デバイス（※）	月額料金	契約期間
PLAN-A	プルーム・テック Ver.1.5	230円（税込）/月	1年契約（年間合計2,760円）
PLAN-B	プルーム・テック・プラス	270円（税込）/月	1年契約（年間合計3,240円）
PLAN-C	プルーム・エス・2.0	360円（税込）/月	1年契約（年間合計4,320円）

※ 対象デバイスのカラーはホワイトまたはブラックのみとなります。プルーム・エス・2.0のアイス・シルバーは対象外となります

【「Ploom 定額プラン」5つの特典】



紛失でも1回まで代替製品提供可能
 製品を紛失した場合、所定の申請を行うことで、1回まで新品送付します。
※代替品の補償はスターターキット（1回限り）のみとなります。通常購入商品は対象外となります。



自損でも2回まで製品交換
 落下や水没など、通常使用における故障・破損時でも2回まで製品交換します。
※代替品の補償はスターターキット（2回限り）のみとなります。通常購入商品は対象外となります。



1,500円分のPloomクーポン
 「Ploom 定額プラン」契約後、「CLUB JT」オンラインショップ、全国のPloom Shopでご利用いただける1,500円分のクーポンをお送りします。



「CLUB JT」最上位プラチナステータス付与
 Ploomライフを充実させる情報や特典満載の会員限定サイト「CLUB JT」のプラチナステータス限定の特典が利用できます。



送料無料
 対象デバイス（スターターキット）の配送費用は無料となります。

※条件等を含む詳細はホームページ（https://shop.clubjt.jp/online/u_page/flat_purchase.aspx）をご覧ください。

「健康経営優良法人 ホワイト500」に 4年連続で認定

JTは、2020年3月2日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2020 ホワイト500」に認定されました。

「健康経営優良法人2020 ホワイト500」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる大規模法人を認定する制度です。

このたびの認定は、これまでの継続した「健康経営」の取り組みが評価されたものと考えております。

今後も、従業員の健康増進を重要な経営課題と位置づけて、積極的に取り組んでまいります。



「なでしこ銘柄2020」に2年連続で選定

JTは、経済産業省が発表した「なでしこ銘柄2020」に選定されました。今回の「なでしこ銘柄」選定は、2年連続3回目となります。

「なでしこ銘柄」は、経済産業省と東京証券取引所が共同で女性活躍推進に優れた上場企業を選定するものです。

JTでは、性別、性自認、性的指向や年齢、国籍だけではなく、経験、専門性など、異なる背景や価値観を尊重し、違いに価値を見出すことが、会社の持続的な成長に繋がると考えており、多様化（ダイバーシティ）の推進に積極的に取り組んでいます。

このたびの選定では、ガバナンスやマネジメントを含めた社員の行動・意識改革の面が高く評価されました。

今後も持続的成長に向け、女性社員を含めた、多様な人財のさらなる活躍を推進していきます。



株主優待における寄付についてのご報告

2019年12月31日現在の株主様を対象とした株主優待において、優待商品の贈呈に代えて、その相当金額を「災害復興支援に対する寄付」としてお選びいただける選択肢をご用意したところ、2,975名の株主様にご選択いただきました。その合計金額14,122,000円を2020年7月31日に社会福祉法人中央共同募金会『赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」』へ寄付いたしました。ご協力いただきました株主の皆さまに、厚く御礼を申し上げます。



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金（災害ボラサポ）」について

近年頻発する災害ではボランティアの重要性がますます高まっています。

「災害ボラサポ」は、皆さまからのご寄付により、被災地で活動するボランティアグループやNPOに助成（資金援助）するしくみです。助成にあたっては、外部識者による運営・審査委員会を設けて公正で適切な審査を行い、また、赤い羽根の持つ全国ネットワークを活用して、被災地に本当に必要とされている活動を支援しています。



社会福祉法人 中央共同募金会について

中央共同募金会は、1947年から続く日本最大の募金運動である「赤い羽根共同募金」を推進する組織です。「赤い羽根共同募金」は、全国で年間約5万件の助成を実施し、高齢者、子ども、障がい者、困難を抱える方たちの支援など、地域の課題を解決する活動をサポートしています。

また、災害時支援や、コロナ感染下での緊急支援にもいち早く取り組んでいます。

工場見学会（2020年11月期）の実施見送りについて

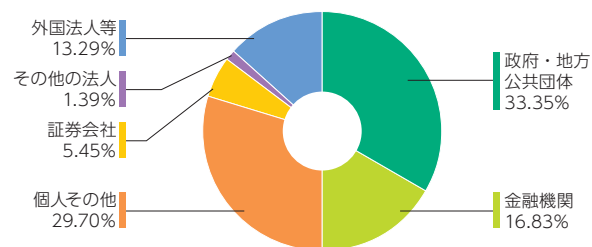
例年11月頃に実施しておりました株主様向けの工場見学会については、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、2020年11月期の実施を見送ることといたしました。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

会社概要

商号 日本たばこ産業株式会社 設立 1985年(昭和60年)4月1日
 本社所在地 〒105-8422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル
 TEL.(03)3582-3111(代表)
 FAX.(03)5572-1441
<https://www.jti.co.jp/>
 資本金 1,000億円

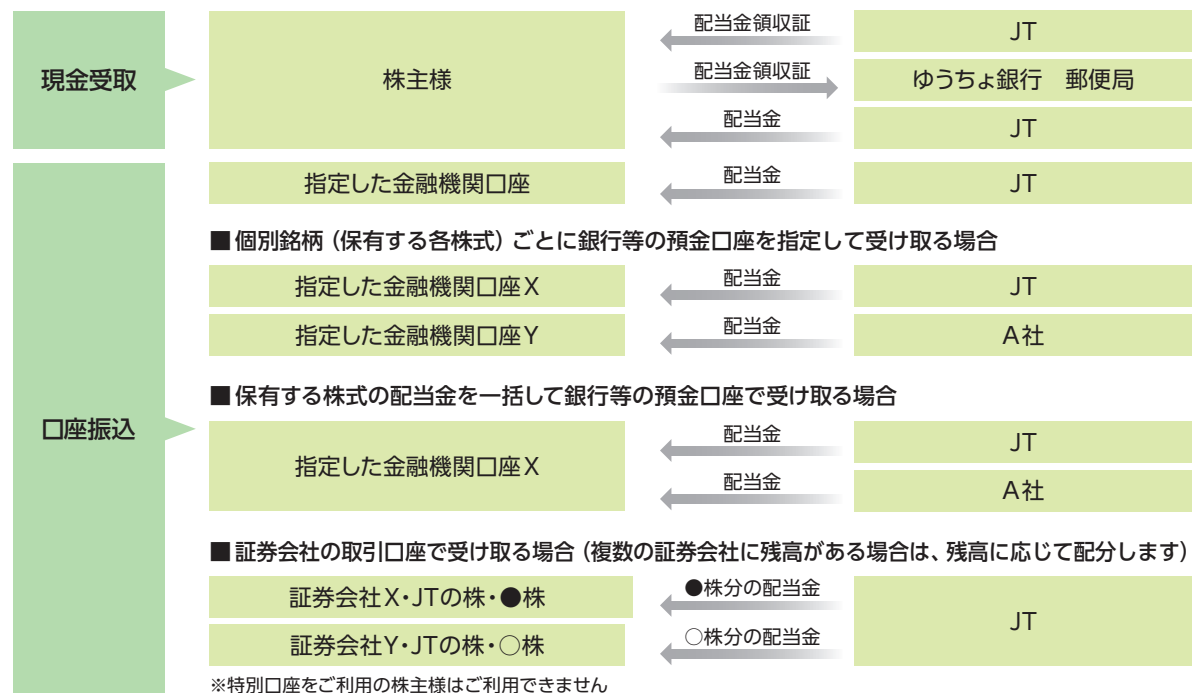
株式の状況 2020年6月30日現在

所有者別構成比



発行可能株式総数 8,000,000,000株
 発行済株式の総数 2,000,000,000株
 (自己株式 225,757,249株)
 株主数 578,976名

配当金のお受け取り方法 口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます

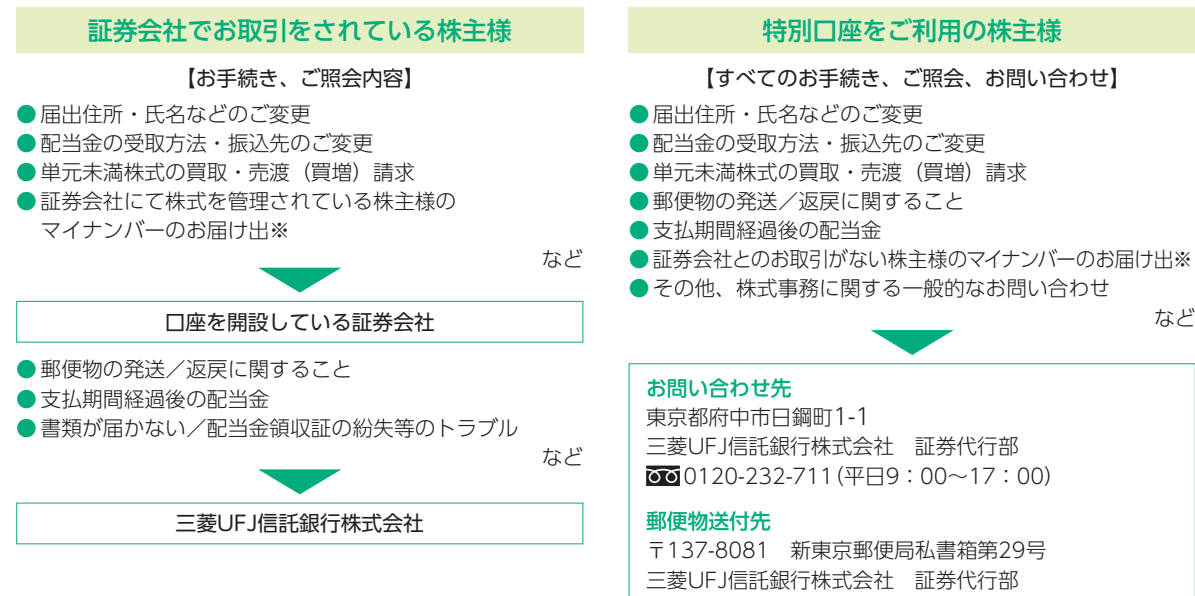


株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月
 期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株
 公告の方法 電子公告
 当社ホームページ (<https://www.jti.co.jp/>) に掲載
 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
■事務取扱場所
 東京都千代田区丸の内1-4-5
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■お問い合わせ先
 東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)
■郵便物送付先
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の諸手続きについて



※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届けください